

報道関係者の皆様へ



雲南市

情報提供	
令和6年3月27日(水)	
担当課 (担当者)	政策企画部政策推進課 (武田/稲田)
電話	0854-40-1011

## Press Release

送付文書 本状のみ2通

### 4/4(木)株式会社アルプロン及び 雲南市による「連携協定」調印式

本件のポイント: 水稲栽培における中干し期間延長プログラムの取り組みは、県内では初めて。

雲南市では、企業と地域の協働による社会課題解決・新たな価値創造を目指す企業チャレンジとして、株式会社アルプロン(代表取締役: 坂本 雅俊)と当市で、「水稲栽培における中干し期間の延長」によりメタンガスを削減しカーボンクレジット化により地域の農家所得向上とお米の付加価値向上を図るための「連携協定」を、令和6年4月4日付けて締結します。

つきましては、下記のとおり調印式を開催しますので、取材いただきますようお願い申し上げます。

#### 【 調印式概要 】

◆日時：4月4日(木) 13:30~14:20 (予定)

- ・開会
- ・挨拶 雲南市長 石飛 厚志
- ・企業チャレンジの取り組みについて
- ・締結のサイン
- ・ご挨拶/本プロジェクト取組内容  
株式会社アルプロン 代表取締役社長 坂本 雅俊(さかもと まさとし)
- ・記念撮影

※質疑応答は記念撮影後に行います。

◆会場：雲南市役所 5階 全員協議会室 (雲南市木次町里方 521-1)

#### 【中干しについて】

- ・中干しとは、水稲の栽培期間中、出穂前に一度水田の水を抜いて田面を乾かすことで、過剰な分けつ(根元付近からの枝分かれ)を防止し、成長を制御する作業をいう。分けつが過剰になると、穂に十分な栄養が行き届かず、収量や品質の低下を招く。



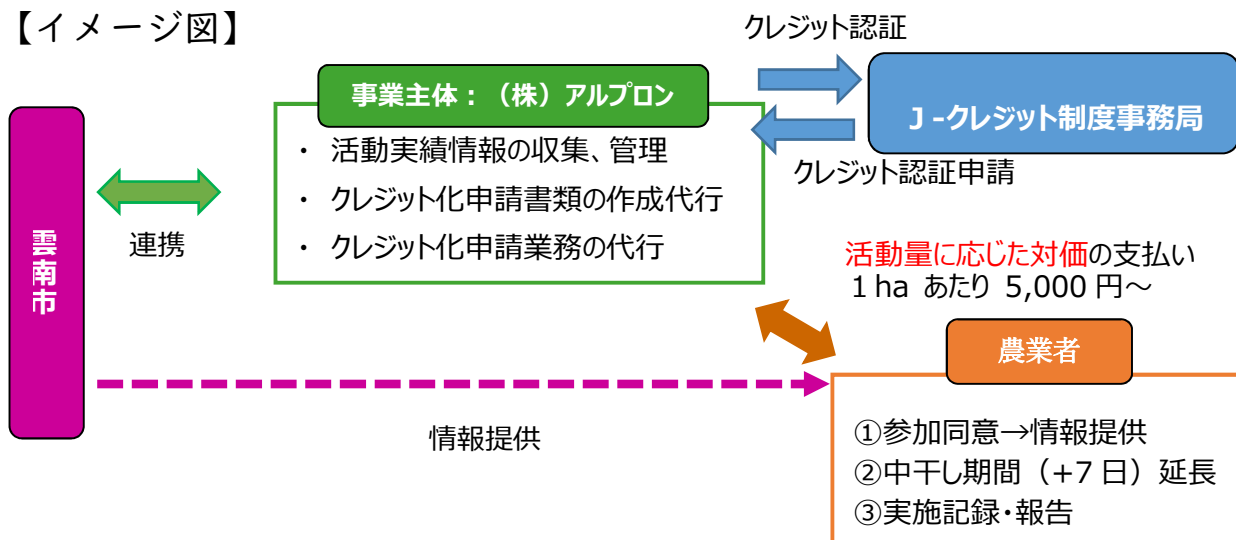
## ■企業チャレンジの概要

○ アルプロンでは、これまでの事業創出に関する知見や人材ネットワークを活かし、新たな取り組みとして、農業分野における温室効果ガス削減対策の促進を図っていきます。

○ 具体的には、地域自主組織や農事組合法人等と連携し、「水稻栽培における中干し期間の延長」によりメタンガスを削減し、カーボンクレジット化により地域の農家所得向上とお米の付加価値向上を図ります。

○ 本事業は、農事組合法人、民間事業者と官民連携で取り組むものとし、市民や高校・大学等との共創を促し、地域の脱炭素の取り組みにつながる力を育むとともに、多世代・多分野による学習機会の提供など人材育成も推進していきます。

### 【イメージ図】



## ■(株)アルプロンの概要

○ 本社所在地：雲南市加茂町南加茂1204-1

○ プロテイン商品を中心に、健康食品、食料品、飲料品の企画・開発・製造・販売及び輸出入を行っている。「この国の体力を強くする」をミッションに掲げ、その一つとして、日本の食料自給率を高めていきたいとの思いが込められている。

○ 規格外の素材や廃棄されるものを「確かな価値」へと生まれ変わらせる取り組みを進め、持続可能性を追求しながら、新たな方法で原料を確保し、誰もが豊かな栄養を行き渡らせ、健康で活躍できる未来を創造していくことを目指している。